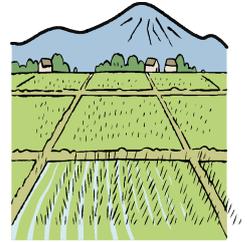


神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第109号(通算)

令和5年6月30日(金)発行

明日からは、7月となります。旧暦でいうと7月は、文月(ふみつき・ふづき)です。また、別に言い方として稲の穂が実る月(穂含月:ほふみづき)とも言うそうです。まもなく梅雨も明け、実りの秋に向けて、お米も成長を始める時期ということです。3年生にとって『夏を征するもの、受験を征す』といいます。この時期の頑張りが大きな実りとなって結果に結びつくのです。暑いとか、湿度が高くて嫌だとか愚痴をこぼしてばかりでは無く、辺高生としての日々の過ごし方を極めてみましょう。



情報モラル教室

令和5年6月15日(木)

今の世の中は、携帯電話やインターネットなど生活が困難になってしまうと思っている人も多いことでしょう。本当にそうでしょうか？便利なツールは上手に使いこなしてこそ、価値があるもの。不注意な使用は、自らを犯罪に巻き込まれたり、逆に加害者として犯罪に手を染めてしまう危険性もあります。この講演は、そのようなことにならないために、正しい知識を学んで欲しいと企画しました。今回の講師は、南九州警察署の上迫さんをお願いしました。



【モラルを持って、使い方に気をつけて】
安全で便利なインターネットライフを



8月に北海道千歳市で行われるインターハイになぎなた部が出場します。

生徒会長選挙

令和5年6月22日(木)

令和5年度の生徒会長選挙が開催されました。立ち会い演説会に引き続き、今回は、南九州市選挙管理委員会のご協力を得て、実際の選挙で使用される事前交付や記載台と投票箱を使用させて頂きました。即日開票の結果、生徒会長は桑原瑛太さんに決定しました。新しい生徒会執行部と協力して、よりよい川辺高校にしていきたいと思います。



【自然は夏を前に、秋の準備も始めています】



燃え上がる炎のような夕陽と木に実った柿。

全校朝礼

令和5年6月19日(月)

【校長講話】



文化祭で演奏した曲に込めた思いを語ります。

① 「Stand Alone」

この曲はジブリ映画の音楽でも有名な久石 譲さんが作曲したNHKの「坂の上の雲」という原作：司馬遼太郎のスペシャルドラマのオープニング曲でした。明治の後期

という日本中がまだ近代国家に向け、もがき苦しんでいた時代です。ちょうど本校が鹿児島第四中学として開校し、旧制の川辺中学校として変遷して歴史を刻み始めた時期と重なります。当時は、外国との交流を閉ざしていた鎖国から180度反転して開国し、さらに富国強兵という半ば強引な政策の転換は、かなり混沌とした状況でしたが、多くの若者達が、夢を抱き、自分自身の力で成功できるというチャンスに溢れていた時代でもありました。将来(未来)に広がる夢を表し、期待に溢れる雰囲気皆さんに伝えようと選曲しました。歌詞は、「わたしは信じる 新たな時がめぐる 凜(凛)として旅立つ 一朵(いだ)の雲を目指し」と締めくくられています。辺高生に期待する私の願いを込めた曲です。

② 「You raise me up」

この曲はアイルランド／ノルウェーのミュージシャン、シークレット・ガーデンが2002年に発表した曲です。しかし、色々なアーティストがカバーして歌っています。日本では、フィギュアスケートの荒川静香さんが世界大会のエキシビジョンでセルティック・ウーマンのバージョンを使用したことで広く知られるようになり、更に、同グループが東日本大震災後に復興支援の曲として来日して際のチャリティーショーで歌ったことでも有名になりました。この曲は歌詞の中に「You raise me up → あなたは私に力をくれる」というフレーズが繰り返されます。お互いに励まし合い、切磋琢磨する仲間(辺高生)であって欲しいという、願いです。



さて、私がクラリネットを演奏するようになって今年で42年目になります。吹奏楽を始めたのは中

学1年生のときですから、実に48年目になります。最初は、トロンボーンという楽器を担当していました。次の高校では、吹奏楽部が無い学校で、音楽部・合唱(声楽：テノール)を担当することになりました。この合唱部は、定期演奏会を行っていましたが、吹奏楽ステージをさせてもらってました。3年次には、高校の体育祭で入場行進曲を演奏させてもらえるようになっていました。大学に入学し、やっと吹奏楽(トロンボーン)を存分に堪能できると思っていた矢先、クラリネット担当を言われました。

(青天の霹靂の出来事!)

私の吹奏楽人生は、思い通りにならないことも多かったです。しかし、『努力は裏切らない』『継続は力なり』だということを経験で感じています。大学生の時のコンクールでは、2回程全国大会に出場を経験できました。大きな檜舞台は、少しでもいい音を出そう、みんなと楽しい音楽を奏でようと、一朵の雲を目指すような努力を継続することが大切だと学びました。

(大きな喜びと貴重な体験)

以来、教師になってからも吹奏楽部の顧問として、多くの教え子(今となっては立派な音楽仲間)たちと音楽を楽しみ続けてきました。顧問として、指揮だけでなく、これまで、色々な楽



器(ユーフォoniumなど)も演奏してきました。今後もこの姿勢は変わらないと思います。そのような私の思いを込めた音楽を皆さんに聴いてもらおうと決心し、初めて文化祭でクラリネットソロを吹かせてもらいました。